頸の位置・回車云による目糸泉変化考察)- 人

0. 目 至今

且線推定をする際、頭の位置、回転は重要ではるが、現在のシステムには糸りみこんでいない。 どのように組みこめるか考察する。

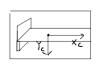
1. 定義まず、を定義する。

① スカリーン座標…最終的にほい座標 ② え献正スケリーン座標・・・カメラを中心としたスクリーン座標 カメラ (メ c, y c) コミック SE

③ 空間座標

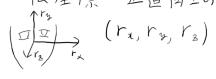


④正規化カメラ座作票…正規化されたか×ラ座作票



(xc, Yc) -14 x6 1, -14 Yc4 1

⑤ 頭の回転座標…正直向王の確認



のカメラの視角…かxラの視界の広も

$$\frac{2 \cdot \sqrt{35E}}{\theta_2} = \frac{2 \cdot \sqrt{35E}}{\theta_2} = (\theta_1, \theta_2)$$

2. 田 → ②の変接(カメララカ×ラ基準のスケリーン)

験の見ている先の室間座標を(Xo,Yo)(Z=0)とする。西日の中間点を(X,Y,Z)とする。 $X_0 = X - Z \sin(r_x)$ $X = Z X_c \tan(\theta_x)$

$$= \mathbb{Z}\left(\times_{c + an} (\Theta_{x}) - s_{i}^{\prime} n(r_{y}) \right)$$

$$Y_0 = Y - Z \sin(r_2)$$
 $Y = Z Y_c \tan(\theta_2)$
= $Z (Y_c \tan(\theta_2) - \sin(r_2))$

×→xc, Y→zcは、平行移動はなく、スケーリング"のみなので、係数 ax, axを導入し、 $\chi_c = \alpha_x \mathbb{Z} \left(\chi_c \tan(\theta_x) - \sin(r_y) \right)$ $y_c = a_y Z (Y_c tan(\theta_y) - sin(r_x))$

とむせる。

3. ②→①の変≠灸

これはすて"にスケーリング"されているので、平行移動のみを考えればよい。係娄又 bx,baを導入し、 $\chi = \chi_{c} + b_{x}, \quad \chi = - \chi_{c} + b_{x} \times \tau_{3}.$

4. Z, tan((+x), tan(+x) の 遵 出

4. 4,7an(ロx1) Tan(ロx1)の導出 距离 民先知の3点、を用いる。座標を(X,,Y,,Z,),(X2,,Y2,Z2),(X3,Y3,Z3)と置く。

それざれの関係は以下のようになっている。

$$X_n = Z_n \times_{cntan} (\theta_a)$$

$$Y_n = Z_n Y_{cn} tan(\theta_r)$$

これにより、以下かい成り立つ。

$$tan(\theta_x) = \frac{\chi_2 - \chi_3}{(Z_2 - Z_1) \chi_{c2} - (Z_3 - Z_1) \chi_{c3}}$$

$$tan(\theta_y) = \frac{Y_2 - Y_3}{(Z_2 - Z_1)Y_{c_2} - (Z_3 - Z_1)Y_{c_3}}$$

Face Mesh座標を (スF1, YF1, ZF1) (XF2, YF2, ZF2)、距離を d とすると、

$$d \times \frac{|\chi_{F_1} - \chi_{F_2}| d}{\sqrt{(\chi_{F_1} - \chi_{F_2})^2 + (\chi_{F_1} - \chi_{F_2})^2 + (\chi_{F_1} - \chi_{F_2})^2}}$$

$$d = \frac{|\mathcal{Y}_{F_1} - \mathcal{Y}_{F_2}| d}{\sqrt{(\mathcal{X}_{F_1} - \mathcal{X}_{F_2})^2 + (\mathcal{Y}_{F_1} - \mathcal{Y}_{F_2})^2 + (\mathcal{Z}_{F_1} - \mathcal{Z}_{F_2})^2}}$$

$$dZ = \frac{|z_{F1} - z_{F2}| d}{\sqrt{(z_{F1} - z_{F2})^2 + (z_{F1} - z_{F2})^2 + (z_{F1} - z_{F2})^2}}$$

また、同じ口座標を持つ2点、を考えるとその口座標が、水まる。

$$Z = \frac{X_2 - X_1}{(X_{c2} - X_{c1}) \tan(\theta_2)} = \frac{Y_2 - Y_1}{(Y_{c2} - Y_{c1}) \tan(\theta_2)}$$

この点を基準とし、dZを求めることによりZががまる。

5. まとめ

$$\mathcal{Z} = \alpha_x(Z(X_{ctan}(\theta_x) - sin(r_y)) + b_y$$

$$y=-\alpha_s(Z(Y_c tan(\theta_s)-sin(r_x))+b_s$$

$$\tan (\theta_{2}) = \frac{X_{2} - X_{3}}{(Z_{2} - Z_{1}) X_{c2} - (Z_{3} - Z_{1}) X_{c3}}$$

$$\tan (\theta_{2}) = \frac{Y_{2} - Y_{3}}{(Z_{2} - Z_{1}) Y_{c2} - (Z_{3} - Z_{1}) Y_{c2}}$$

$$[2] = \frac{Y_2 - Y_3}{(Z_2 - Z_1)Y_{c_2} - (Z_3 - Z_1)Y_{c_2}}$$

$$Z = \frac{X_2 - X_1}{(X_{C2} - X_{C1}) + \alpha_N(\theta_N)} + dZ$$

$$dZ = \frac{(z_{F_1} - z_{F_1}) d}{\sqrt{(\chi_{F_1} - \chi_{F_2})^2 + (y_{F_1} - y_{F_2})^2 + (z_{F_1} - z_{F_2})^2}}$$

ax, ax, bx, bxは画面と値を基に調整。(画面上の点に向かせる?)